

ニューズレター No.102

発行人 谷川 裕稔

2018(平成30)年3月22日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.102をお届けいたします。今回は、

- (1) 2017年度臨時理事会の報告
- (2) 第6回 関東・甲信支部大会開催報告
- (3) 第11回 関西支部大会開催案内

についてお知らせいたします。

2017年度臨時理事会の報告

以下の要領で、2017年度臨時理事会を開催いたしました。議題の概要について示します。

期日:2017年12月26日(火)14:30~17:00

場所:国際文献社会議室

【審議事項】

1. 「JADE 名称」使用の際のコンセンサス

JADE の名称を使用する場合は、JADE 理事会の承認が必要となることが確認されました。今後、JADE の名称で企画等を検討される方は、その旨を会長にご連絡ください。

2. 会費の値上げ

予算状況に鑑みて、以下の4点が承認されました。①個人会費を値上げする、②全国大会の事務局で負担している一部を大会の負担とする、③領収書の再発行等は有料にする、④将来的に会費の支払いにクレジットカード払い、コンビニ払いを導入する際は、手数料を受益者負担にする。

3. 会員・賛助会員の増員

個人会員、賛助会員を増やすために、正会員から方略を募って、「将来構想委員会」が集約・検討することが承認されました。

4. 「リメディアル教育」の定義

高校教育のやり直しとしての狭義の「リメディアル教育」理解を払拭して、大学院を含めて入口から出口までを包括する、広義のリメディアル教育の理解を広めることが必要であることが確認されました。それにあわせて、将来構想委員会が「リメディアル教育」に係る定義案を作成すること、学会HPに「会長の挨拶」を掲載して広義のリメディアル教育理解を広めることが承認されました。

5. アメリカの学習支援関連部会との連携

国際交流委員会が主体となって、国外発表の場を設けるなど、アメリカの学習支援関連機関と連携を勧めることが承認されました。

6. 支部・専門部会委員会

全国大会以外の部会企画等の開催手続きが確認されました。また、部会・専門部会の統廃合が検討されました。

7. 研究促進委員会

研究奨励賞・研究課題大会について報告がありました。

8. 第14回全国大会会場校(創価大学)

『激変する社会における大学の未来を考える』というテーマ案とプログラム案が説明され、承認されました。

9. 次年度の国際文献社への業務委託

引きつぎ国際文献社に業務委託することが承認されました。

11. その他

会誌への掲載料を徴収することについて議論がありました。掲載料等については将来構想委員会にて引き続き審議することになりました。

【報告事項】

1. 第13回全国大会(日本文理大学)

開催された全国大会について報告がありました。

第6回 関東・甲信支部大会開催報告

運営費については全額を高崎経済大学からの補助金にて賄うとともに、掲示物と学内案内については研究支援チームの、ポットについては入試チームの協力を得ました。参加者数は、延べ76名でした。

■日時:2018(平成30)年2月9日(金)10時30分~12時00分

■場所:高崎経済大学

■講演「地域と一体となった学生中心の学びで魅せる！」

~共愛学園前橋国際大学が全国から注目されるわけ~

共愛学園前橋国際大学 学長 大森昭生氏

■研究発表会(13時05分～16時15分)

- ①中西千春・中尾桂子・川井一枝「学生の思考力を促す教師用 Can-do リストの開発」
- ②森下佳代子・小林幸夫・糸井康彦・南斉清巳「学習支援室【思索 Café】における授業外学習支援」
- ③小川健「非技術/情報系の経済系に仮想通貨・ビットコイン・ブロックチェーンをいかに教えるか」
- ④森田和子「リメディアル対象の学生に対する意識調査」
- ⑤水町龍一「リメディアル教育の根本問題と数学基礎教育」
- ⑥塩島翔「二松學舎大学「漢学と文章表現」を担当して一科目の役割を考える」
- ⑦鷲北貴史「大教室での社会学講義は成功だったのか？ アンケート結果から総括をする」

■名刺交換会(16時20分～17時20分)

第11回 関西支部大会開催案内

日本リメディアル教育学会「第11回関西支部大会」を以下の日程にて開催いたします。

■日時:2018年3月30日(金) 9:00～16:30

■場所:滋賀大学 彦根キャンパス 校舎棟第7、13教室

スクールバス時刻表(所要時間8分、片道100円)

彦根駅発 8:05、8:32、9:16、9:48、10:10、11:00、12:00、12:30、14:00

滋賀大学発 12:10、12:40、14:10、14:32、15:01、16:07、16:33、17:03、

18:05、18:37

■研究発表

9:00～9:50(第7教室) 司会:鷲北 貴史

岡田 圭子 会員(獨協大学)「英語教育における高大連携—学校の序列化を超えた価値の創造」

9:00～9:50(第13教室) 司会:田場 尚平

小畑 力人 会員 大串 恵太 氏、(追手門学院大学)「キャリア・アクションコモンズを中核とした統合的キャリア支援体制の整備」

10:00～10:50(第7教室) 司会:岡田 圭子

鷲北 貴史 会員(高崎経済大学)「大学における『教育困難校』の葛藤～朝比奈なを『東洋経済オンライン』の記事と自分の現場との比較考察～」

10:00～10:50(第13教室) 司会:大串 恵太

清水 忠 会員(兵庫医療大学)「兵庫医療大学薬学部における初年次補完教育の取り組み」

11:00～11:50(第7教室) 討論者:朝比奈 なを

児玉 英明 会員(滋賀大学)「書評:朝比奈なを『高大接続の“現実”』を読む」

11:00～11:50(第13教室) 司会:清水 忠

高安 美智子 会員、田場 尚平氏(名桜大学)「アクティブラーニングを支える学部生による学習支援—正課内・正課外の連携授業における学習支援—」

■講演とディスカッション

13:00～14:00 基調講演(第7教室)

朝比奈 なを 会員(教育ライター)「教育困難校からの大学進学～『高大接続の“現実”』と今を語る～」

14:15～15:45 ディスカッション

「高大接続の現実と課題 ～朝比奈なを先生を囲んで～」

16:00～16:30 名刺交換会

【講演要旨】

2018年3月に高校の新学習指導要領が発表される予定である。今回の改訂には、高大接続改革、大学入試改革、高校教育の質の問題の3点について、ここ数年間の議論が盛り込まれており、今後の高校教育・大学教育の大きな転換点になるものと予測されている。中でも高校教育の質の問題が取り上げられている点が注目される。ほぼ義務教育化した高校は、入学試験により選別された生徒を受け入れ、そこでは非常に多様な高校生活が繰り広げられる。大学に入学した学生の学力や学習意欲の差異も高校生活に起因するものが多い。今回の講演では高校の多様性と大学進学のプロセス、進学した大学での学び方の特性等について説明し、彼らを受け入れる大学での指導の一助となり得ることを目的としたい。

【講師紹介】

筑波大学教育研究科修了。教育学修士。首都圏の公立高校地歴・公民科教諭を家族の介護のため退職。その後、大学非常勤講師、市教育相談員の仕事と並行し、進路アドバイザーとして高校生・保護者対象の講演活動、教育に関する執筆活動と多方面から教育にかかわる。主な研究テーマは、高校教育、高大接続、子どもの貧困。

著書・論文に『見捨てられた高校生たち—知られざる「教育困難校」の現実』『高大接続の"現実"—"学力の交差点"からのメッセージ』（共に学事出版）、「教育現場で見える『貧困』」『教育と医学 No.727』、『置き去りにされた高校生たち（仮題）』（今春刊行予定、学事出版）

（東洋経済オンラインにおける連載）

<http://toyokeizai.net/list/author/%E6%9C%9D%E6%AF%94%E5%A5%88%20%E3%81%AA%E3%82%92>

日本リメディアル教育学会 関西支部長 児玉英明（京都三大学教養教育研究・推進機構）

■参加申込

3月23日（金）までに、お名前・ご所属を児玉英明

(hideakikodama@kpu.ac.jp) までメールください。

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限ります（編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります）。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

【文責】藤田 大雪